

(別紙)

令和7年度(令和6年度からの繰越分)障害福祉分野の介護テクノロジー導入支援事業
(介護ロボット等導入支援事業)事業報告書

※導入機器ごとの効果や目的等を把握するため、導入機器ごとにそれぞれ作成をしてください。(一体的に利用している機器を除く)

自治体名 埼玉県

【基本情報】

フリガナ	シャカイワジホウジン スバル
法人名	社会福祉法人 昴
フリガナ	キョウトウセイカツホーム「スマイル」アスク
事業所名	共同生活ホーム「すまいる」あすく
施設・事業所種別(指定を複数受けている場合は、補助上限額を適用する施設・事業所を選択)	
グループホーム	
職員数(常勤換算数)【(従事者の1ヶ月の勤務時間)÷(事業所等が定めている、常勤の従事者が勤務すべき1週間の時間数 × 4(週))にて算出(産休・育休、休職は除く)】	
2.7人	

(1)主な導入機器内容(種別・機器名等)

機器の種別: ☐ 移乗介護 ☐ 排泄支援 ☐ 入浴支援
☐ 移動支援 ☐ 見守り・コミュニケーション ☐ 機能訓練支援 ☐ 栄養管理支援

機器名(導入台数) 介護リフトつるべY6セット/1台、スリングシートエヴァフルタイプ中EVE240/1枚、スリングシートエヴァフルタイプ小EVE250/1枚

(2)ロボット機器等導入前の定量的指標及びロボット機器等導入後の定量的指標

① ロボット機器等導入前の業務時間内訳

業務内容		A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの 平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり 業務時間 (C×D÷A)
			B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)			
直接介護	1 移動・移乗・体位変換	8 人	600 件	7,200 件	5 分	4,800 人時間	75 時間
	2 排泄介助・支援			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	3 生活自立支援(※1)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	4 行動上の問題への対応(※2)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	5 その他の直接介護			0 件		0 人時間	#DIV/0!
間接業務	6 巡回・移動			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	8 見守り機器の使用・確認			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	9 その他の間接業務	8 人	10 件	120 件	15 分	240 人時間	4 時間
			610 件	7,320 件	20 分	5,040 人時間	#DIV/0!

※1 入眠起床支援、利用者とのコミュニケーション、訴えの把握、日常生活の支援

※2 徘徊、不潔行為、昼夜逆転等に対する対応等

※3 利用者に関する記録等の作成、勤務票等の作成、申し送り、文書検索等

以下の※1及び※2については、ロボット機器等導入前の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※1>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

利用者数5名、一人当たり移乗回数4回/日、5名×4回×30日＝600件

<※2>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

1. 移乗介護5分/回
8人×7,200件×5分＝4,800人時間
9.その他:ヒヤリハット月平均10件×12か月＝120件
ヒヤリハットの報告、振り返りの時間15分/1件
8人×120件×15分＝240人時間

② ロボット機器等導入後の業務時間内訳

業務内容		A.業務従事者数	発生件数		D.1件当たりの 平均処理時間(分)	人時間 E(A×C×D)	1人あたり 業務時間 (C×D÷A)
			B.ひと月当たり	C.年間発生件数(B×12)			
直接介護	1 移動・移乗・体位変換	8 人	600 件	7,200 件	5 分	4,800 人時間	75 時間
	2 排泄介助・支援			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	3 生活自立支援(※1)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	4 行動上の問題への対応(※2)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	5 その他の直接介護			0 件		0 人時間	#DIV/0!
間接業務	6 巡回・移動			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	7 記録・文書作成・連絡調整等(※3)			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	8 見守り機器の使用・確認			0 件		0 人時間	#DIV/0!
	9 その他の間接業務			0 件		0 人時間	#DIV/0!
			600 件	7,200 件	5 分	4,800 人時間	#DIV/0!

以下の※3及び※4については、ロボット機器等導入後の実際の業務状況に即した算出をお願いします。

<※3>B. ひと月当たり発生件数の算出方法

利用者数5名、一人当たり移乗回数4回/日
5名×4回×30日＝600件
600件×12か月＝7,200件

<※4>D. 1件当たりの平均処理時間の算出方法

移乗介護5分/回
8人×7,200件×5分＝4,800人時間

年間業務時間数想定削減率(%)

4.8%

(3)削減率が20%を超える場合は、その要因について記載すること。

(4)ロボット機器等の導入により得られた効果

人力移乗介助による利用者の抱え上げで、介護者の身体に負担となり腰痛のリスクが課題となっていた。
小柄な介助者では対応困難であった移乗介助が、リフターの活用によって可能になった。
これまで、移乗介護は力のある介護者が担っていたが、そのために腰を痛めそうになる等のヒヤリハットが発生していた。
リフターの活用によりヒヤリハット発生が無くなり、ヒヤリハットの報告、振り返り業務を省略することができた。

(5)今後の課題

今後も安全にリフターを使用するために、継続的な使い方の確認や新しい職員への研修が必要である。

(6)気づき等について

リフターの活用により、職員だけでなく、利用者にとっても抱え上げられる負担が軽減し、穏やかな表情で移乗ができるようになった。
職員からも移乗による腰痛の心配をしなくて良くなったと、安心の声も聞かれた。

(7)費用面での効果(ロボット機器等の導入による費用の削減の有無を必ず選択すること。)

ロボット機器等の導入による費用の削減	無
--------------------	---

ロボット機器等の導入による費用の削減が「有」の場合、以下を回答すること。

削減額(円／月)	
職員の賃上げ等への充当	
その他職場環境の改善への充当(※1)	
サービスの質の向上に係る取組への充当(※2)	

(※1)その他職場環境の改善の具体的な内容について記載すること。

(※2)サービスの質の向上に係る取組の具体的な内容について記載すること。